

2022年6月8日

ATR、日本でのリージョナル航空機の導入拡大を目指す

リージョナル航空機世界最大手の ATR(本社:フランス・トゥールーズ)は、新型コロナウイルスの感染拡大が減少傾向にある日本市場において、リージョナル航空機の需要増加を見込み、日本でのプレゼンスを高めていきます。

2年ぶりに来日した ATR の CEO、ステファノ・ボルトリは、本日東京都内で開催した記者会見で、次のように述べました。「近い将来、日本国内で 100 機の ATR 機が運航されると見えています。列島からなる日本では、航空輸送は国内旅行や物流に、非常に重要かつ不可欠な手段です。私たちは日本の各地域をこれまで以上にサステナブルかつ安価につなぎ、日本の豊かな未来に貢献できるよう支援していきたいと考えています。新しい ATR 機の多くは、効率の悪い旧型機材にとって代わるものであり、日本の島々や遠隔地と主要都市を結びます」

日本では、環境への影響を最小限に抑えながら、いかに経済発展を促進して全国各地をつなぐかが、大きな課題の一つとなっています。ATR の航空機は、同サイズのリージョナルジェット機と比較して、燃料消費量と二酸化炭素(CO₂)排出量を 40%削減し、これは 2030 年までに排出量を 46%削減するという日本政府の目標にも貢献するものです。新しい PW127XT エンジンや、持続可能な航空燃料(SAF)を 100%使用した運航など、まもなく提供される数々の革新的技術により、ATR 機の CO₂ 排出量はさらに削減されることになるとでしょう」

コマーシャル部門シニア・バイスプレジデントのファブリス・ヴォーティエは、次のように述べています。「日本と ATR 機には、高い親和性があります。ATR 機を運航する日本の航空会社は、低運航コストと低排出ガスという独自の組み合わせにより、遠隔地を含む日本のあらゆる地域と大きなハブ空港をサステナブルにつなぐことができます。近々導入される短距離離着陸を可能とする STOL 機は、日本列島全域の小さな空港にも運航できます。日本には短い滑走路を持つ空港が 10 カ所あり、その地域社会にとっては重要な交通手段となりえるでしょう。」

ATR が日本市場に参入したのは 2016 年です。今日すでに 15 機の ATR 機が飛行しており、天草エアライン(本社:熊本県天草市)、日本エアコミューター(JAC、本社:鹿児島県霧島市)、北海道エアシステム(HAC、本社:北海道札幌市)の 3 つの航空会社により運航されています。2021 年 9 月末、HAC にはワンワールドアライアンスの塗装を施した ATR 42-600 を引き渡し、日本への空輸飛行の最初の区間では SAF を使用しました。また 2022 年 5 月初旬には、自然保護を象徴する「カイクウズ」の葉をモチーフにした塗装が施された ATR 42-600 を JAC に引き渡しました。

さらに、トキエア(本社:新潟市)とオリエンタルエアブリッジ(ORC、本社:長崎県大村市)は、まもなく ATR 機を導入します。ATR 機ファミリーは、その性能と汎用性、燃料消費量と CO₂ 排出量の削減、低い運航コストにより、引き続き日本市場のニーズに応え、航空輸送の責任とアクセスを高めることに貢献し続けます。

**ATR について**

ATR は世界 No.1 のリージョナル航空機メーカーで、90 席以下のリージョナル機市場のベストセラー機 ATR42 及び ATR72 を製造しています。社員全員が、世界中の人々を環境に責任ある方法でつなぎ、その発展をサポートするという一貫したビジョンをかかげています。継続的な改良を原動力とし、ATR は最先端の快適かつ汎用性の高いターボプロップ機を製造し、毎年 100 以上の新規路線開設に寄与しています。リージョナルジェット機と比較し、消費燃費、CO2 排出量とも最大 40%減となっています。これらの理由から ATR は、世界約 100 カ国、200 以上の航空会社にも選ばれています。ATR はエアバス社とレオナルド社の航空業界大手 2 社が共同パートナーシップを結んだ事業体です。

詳しい情報は <https://www.atr-aircraft.com/jp> をご覧ください。

本件に関する報道関係お問合せ**ATR Media Relations****Charlotte Giuria**

Tel.: +33 (0)6 80 48 20 96

Email: charlotte.giuria@atr-aircraft.com**ATR 広報代理**

アシュトン・コンサルティング・リミテッド

電話: 03-5425-7220

メール: ATR@ashton.jp

(担当: 福井、仲山)